

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)松本空港線		
事業毎の通番		12	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	町神(まちかん)	
事業概要	事業目的	(一)松本空港線は、信州まつもと空港から松本中心市街地を結ぶアクセス道路であり、空港整備時に策定した松本空港周辺環境整備計画(H2)において整備箇所として位置付けられている。 平成28年、県は信州まつもと空港の国際化に着手し、平成34年度を目途に国際定期便の定着を目指すこととなった。このため、インバウンド対応としてのアクセス道路の整備を図りたい。また、当区間は、菅野中学校及び菅野小学校の通学路として通学に利用されている。増大する観光車両からの地元住民の安全確保を目的として、道路拡幅にあわせ、歩道設置を実施する。					
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	松本空港周辺環境整備計画					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：6,431台/日					
	着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	2.5	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=440m、W=6.0(12.0)m			350,000		315,000 35,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間短縮 走行経費減少					
	間接的効果(定量的・定性的)	松本空港から松本中心市街地へのアクセス性の改善 通学路の安全確保					
評価の視点	必要性	○計画交通量：6,431台/日 ○代替道路の有無：代替道路があるが、安全性は低い ○医療・福祉・教育施設との連携：菅野中学校通学路(菅野小学校通学路) ○交通結節点アクセス：松本空港への2次アクセス ○観光振興・地域の活性化：松本空港から、松本中心市街地(松本城)へのアクセス道路				評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：松本空港周辺環境整備計画 ○緊急輸送路の路線指定：なし ○地域指定：なし				評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C)：2.46 ○事業期間：7年間 ○工法等の比較検討：なし ○他事業との連携：松本空港周辺環境整備計画				評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：29件(物損22件、人身7件)H24～H28 ○道路環境改善：朝夕の渋滞緩和 ○歩道整備：歩道未整備区間 ○現況の車道幅員、半径、勾配：車道幅員5.4m				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：H28.1 地権者へ計画説明会を実施、H28.3 住民へ計画説明会を実施 ○地域の取り組み：H28.11 空港対策室へ地元要望、H29.10 建設部長要望 ○地域の合意形成：H28.1 地権者へ計画説明会を実施し合意形成が図られている ○住民との協働：なし				評価	B
	部局意見	事業の必要性が高いため、平成30年度から事業化したい。			採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。						

事業概要説明図表	位置図		
	平面図		
事業周辺環境	現況写真		
	標準横断面		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(一)松本空港線は、信州まつもと空港から松本中心市街地を結ぶアクセス道路であり、空港整備時に策定した松本空港周辺環境整備計画(H2)において、増加する観光車両への対策として、整備箇所として位置付けられている。 また、菅野中学校(菅野小学校)の通学路として、通学に利用されている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	松本空港整備時に策定した松本空港周辺環境整備計画(H2)において整備箇所として位置付けられた。 H16.11 地元から市長要望あり H21.2 整備優先区間について住民アンケートを実施 H22～H29隣接工区の整備を実施 H28.11 空港対策室(知事宛)へ要望あり H29.10 建設部長へ要望あり	
	③事業説明等の経緯	H25.9、H26.10 地元町会へ説明 H27.2 地権者へ測量説明会を実施 H28.1 地権者へ計画説明会を実施 H28.3 住民へ計画説明会を実施	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	松本空港整備時に策定した松本空港周辺環境整備計画(平成2年)において整備箇所として位置付けられている箇所のうち、未整備の一箇所。 松本空港国際化にあたり、空港対策室へ地元要望あり。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	松本空港の開設にあたり、周辺住民の生活環境に配慮し、松本空港周辺整備計画を策定し、生活道路の改善を図る。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより、周辺住民の生活環境を確保しつつ、松本周辺観光地の活性化も期待される。	
	⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 11' 09" 東経:E 137° 55' 57"	